◎校長室だより

2022年12月16日 こさき こうじ 校 長 小崎 功二



「中東」は一年中暑いわけではありません

先週末,現在中東サウジアラビアに駐在中の高校時代の同級生である秋山君(遠見塚小学校出身)とオンラインで話をする機会がありました。

今,中東カタールでサッカーのワールドカップが開催されています。中東の酷暑の時期を避けたため,サッカーワールドカップ史上初めての冬季開催となりました。私は秋山君に,冬期とはいえ中東の暑さは大丈夫なのかと尋ねたところ,彼からは「中東地域は,一年中暑いわけではない。」と一笑に付されました。

皆さんは「中東」というと、まず「暑さ」「砂漠」「らくだ」などを思い浮かべるのではないでしょうか。私もそうでした。これまでの日本の報道では、その様な映像を目にすることが多かったように思います。ワールドカップでもそのようなイメージをどうしても伝えたいようで、「今日の現地の最高気温は〇〇度です。」といった内容の報道から始まることもしばしばです。先週日曜日の朝の情報番組でも、有名なコメンテーターが「カタールという暑い国でワールドカップをやるなんて信じられない」といった趣旨の発言をしていました。しかし現地からの中継で時折「現在ピッチの気温は25度です」などという話になり、期待と違う気温に驚かれた方もいらっしゃることでしょう。このように、中東でも冬季には気温は下がるのだそうです。

オンラインで秋山君は、「サウジアラビアの今日の最低気温は13度で寒い!」と話していました。 サウジアラビアの家電販売店では、この時期になると電気ヒーターが売られているそうです。中東の 国のエアコンには暖房機能がないため、夜間や早朝には電気ヒーターも必要とのことです。産油国で ありながら、石油ヒーターよりも手軽な電気ヒーターの人気が高いそうです。

砂漠のイメージとは違って、年に数回は大雨が降ることもあり、その時には、排水設備が整っていないこともあり、道路が川のようになってしまうこともあるそうです。さらには、山岳部では雪も降るとのことで、秋山君はイランでスキーをしたことがあると話していました。彼が駐在先の仲間と出かけたそのスキー場の標高は、富士山の山頂程あるそうです。偶然にも秋山君が小学3年生の時の担任はイラン日本人学校から帰国したばかりの方だったそうで、その先生が「イランでスキーをした」と話していたそうです。当時は子供心に、「イランで雪なんか降るわけがない」と思ったことを、半世紀も経ってから自分がイランでスキーをしているときに、ふと思い出したそうです。

彼からこのような話を聞きながら、「中東は一年中暑い」「砂漠の国」「雨は少ない」「雪は降らない」などという我々日本人が一般的に持っているイメージの中には、事実と異なることもあるということに改めて気づかされました。現在のサウジアラビアをはじめ、これまで世界各地で仕事をしてきた秋山君は、地元で教員として働いている私に対して「子供たちに伝えてほしいこと」として次のように話していました。

「私たちが漠然と持っているその国のイメージには、マスコミの意図的な報道や伝聞など主体性のない情報源による誤解や偏見が含まれていることがある。それが自分の中で増幅され定着することによって、知らず知らずのうちに刷り込まれてしまい、それが偏見だと気づかずに、その国のことを知っているかのように錯覚してしまうこともある。また、興味を持って調べることで知識は持っていても、その国や地域に実際に行き、人々と触れ合ってみないと分からないことも沢山ある。外国では日本の常識が通用しないことも多く、それは、それぞれの国によっても異なり、外国で活動する際や外国人と接する際には、そのことに気をつけて行動することも必要だ。その国の常識・慣習・文化を『奇妙だ』とか『おかしい』『間違っている』などと決めつけずに、まず受け入れて尊重することが重要だと思う。」

外国人の日本や日本人に対するイメージにも、同様に多くの誤解や偏見が含まれていることでしょう。今後ますますグローバル化していく世界の中で生きていくであろう郡山小学校の子供たちには、まずは、母国である日本の歴史や文化、伝統などについて自分自身が学び、理解し、その上で、将来どの国の人と接する際にも日本について正しく伝え、さらにそこから前述のように、相手の国への敬意を持って、互いに理解し合うために努力することを心がけてほしいと思っています。

最後に彼からの情報をもう一つ。中東にも冬があることは分かりましたが、私も、この情報には驚きました。OCA(アジアオリンピック評議会)は、2029年の「冬のアジア大会をサウジアラビアで」開催すると発表したそうです。

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいことなど

2022 年 12 月 16 日 ()年 ()組 児童氏名

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp (校長直通)